

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月7日 (2019.3.7)

【公開番号】特開2018-197336(P2018-197336A)

【公開日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2018-67689(P2018-67689)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/30 (2018.01)

C 0 9 J 123/26 (2006.01)

C 0 9 J 163/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 7/30

C 0 9 J 123/26

C 0 9 J 163/00

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 11/06

B 3 2 B 27/32 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月24日 (2019.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

接着剤層を有する、封止シートであって、

前記接着剤層は、変性ポリオレフィン系樹脂 (A)、及び多官能エポキシ化合物 (B) を含有する接着剤組成物から形成されたシート状物であり、

前記シート状物が下記要件 (I) 及び (II) を満たす、封止シート。

・要件 (I) : 前記シート状物の 80 における貯蔵弾性率 G' が 0.3 MPa 以下である。

・要件 (II) : 前記シート状物を 120 の環境下で 20 分間静置した際の、前記シート状物の 1 cm³ 当たり発生するアウトガス量が、20 mg / cm³ 以下である。

【請求項 2】

成分 (A) の含有量が、前記接着剤組成物の有効成分の全量に対して、15 ~ 70 質量 % である、請求項 1 に記載の封止シート。

【請求項 3】

成分 (B) が、多官能脂環式エポキシ化合物及び多官能脂肪族エポキシ化合物から選ばれる 1 種以上である、請求項 1 又は 2 に記載の封止シート。

【請求項 4】

成分 (B) が、25 において液体である多官能エポキシ化合物 (B1) を含有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の封止シート。

【請求項 5】

成分（Ｂ）が、２５ において固体である多官能エポキシ化合物（Ｂ２）をさらに含有し、

成分（Ｂ１）と成分（Ｂ２）の含有割合（質量比〔成分（Ｂ１）：成分（Ｂ２）〕）は、１００：１～１：１である、請求項４に記載の封止シート。

【請求項６】

成分（Ｂ）の含有量が、成分（Ａ）１００質量部に対して、２５～２００質量部である、請求項１～５のいずれか一項に記載の封止シート。

【請求項７】

さらに、粘着付与剤（Ｃ）を含有する、請求項１～６のいずれか一項に記載の封止シート。

【請求項８】

成分（Ｃ）の含有量が、成分（Ａ）１００質量部に対して、１～２００質量部である、請求項７に記載の封止シート。

【請求項９】

さらに、イミダゾール系硬化触媒（Ｄ）を含有する、請求項１～８のいずれか一項に記載の封止シート。

【請求項１０】

成分（Ｄ）の含有量が、成分（Ａ）１００質量部に対して、０．１～１０質量部である、請求項９に記載の封止シート。

【請求項１１】

さらに、シランカップリング剤（Ｅ）を含有する、請求項１～１０のいずれか一項に記載の封止シート。

【請求項１２】

成分（Ｅ）の含有量が、成分（Ａ）１００質量部に対して、０．０１～１０質量部である、請求項１１に記載の封止シート。

【請求項１３】

さらに、基材層とガスバリア層とを備えたガスバリア性フィルムを有する、請求項１～１２のいずれか一項に記載の封止シート。

【請求項１４】

前記ガスバリア性フィルムのガスバリア層と、前記接着剤層とが直接積層した構成である、請求項１３に記載の封止シート。

【請求項１５】

前記ガスバリア層が、高分子化合物を含み、改質処理が施された高分子層である、請求項１３又は１４に記載の封止シート。

【請求項１６】

有機ＥＬ素子、有機ＥＬディスプレイ素子、液晶ディスプレイ素子、又は太陽電池素子を、請求項１～１５のいずれか一項に記載の封止シートで封止してなる、封止体。